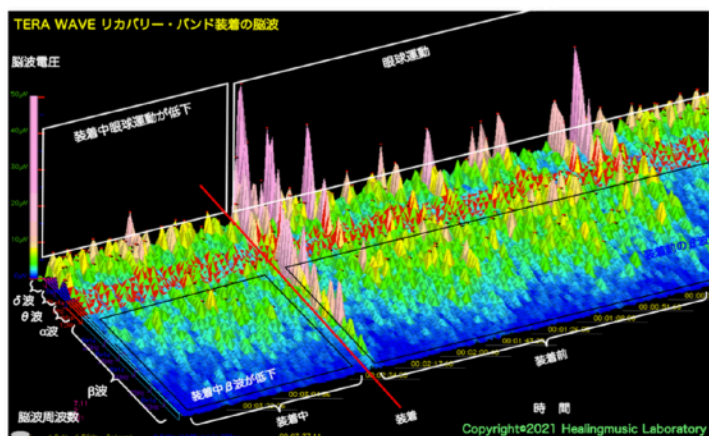


# 脳波測定 1

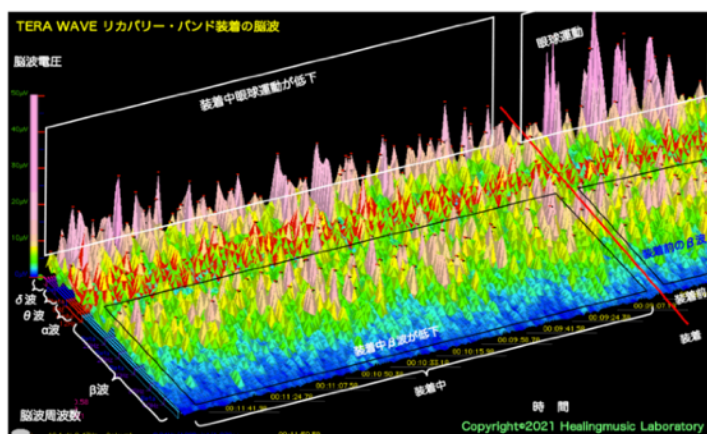
被験者様に、TERA WAVE加工製品の装着前~装着中、塗布前後、飲水前後、散布前後の脳波を、連続測定を行い、脳波と眼球運動の変化を立体グラフで視覚化。Tシャツは脳波測定しながら着用できない為、背後から肩にかけて装

被験者 / 40代男性

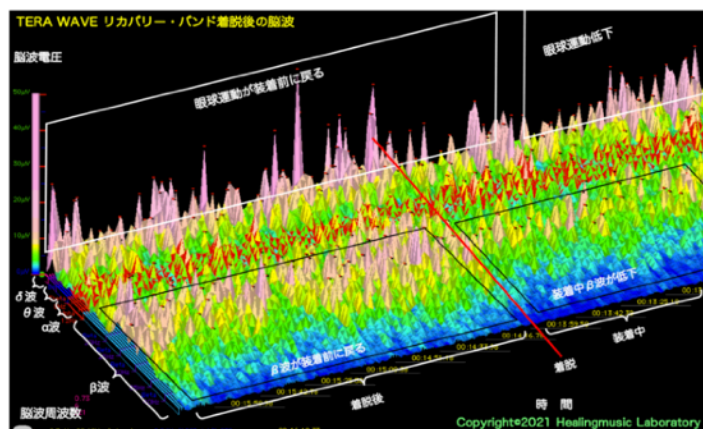


<TERA WAVE リカバリー・バンド>  
装着前の脳波は、β波は低め。  
眼球運動も平均より低い。  
装着直後から、眼球運動は低下。  
β波は、若干低下。  
特に、高β波(20~40Hz)領域が低下。  
被験者は、TERA WAVE リカバリー・バンドを装着すると、遠赤外線、テラヘルツ効果により、眼球運動低下・β波低下したリラックス効果が見受けられる。  
(被験者は、少林寺拳法を修練されていて、瞑想・呼吸法を実践している為、β波・眼球運動が低めに安定していると推察される)

被験者 / 50代男性



<TERA WAVE リカバリー・バンド>  
装着前の脳波は、β波は平均的に出現。  
眼球運動は時より激しく、多少緊張気味と思われる。  
装着直後から、眼球運動は顕著に低下。  
β波は、若干に低下する。  
特に、高β波(20~40Hz)領域が低下。  
このグラフから、TERA WAVE リカバリー・バンドを装着すると、遠赤外線・温熱効果、テラヘルツ効果により、眼球運動とβ波が低下し、α波が強調され、心身がリラックスした副交感神経優位状態が推察される。

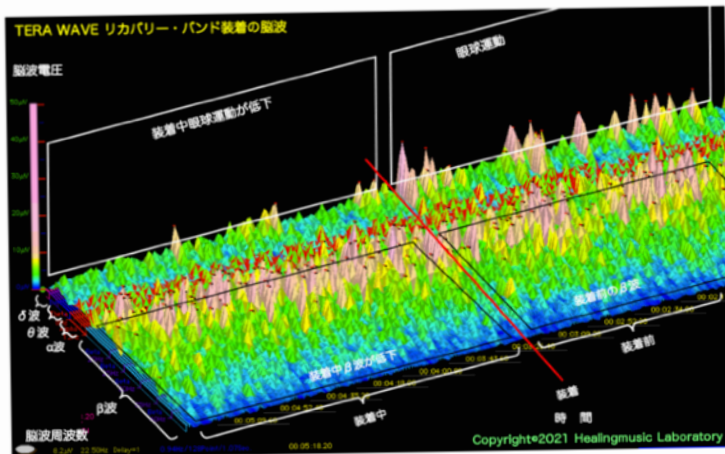


<TERA WAVE リカバリー・バンド>  
装着中は、眼球運動が顕著に低下し持続。  
β波は、低下持続。  
着脱後は、眼球運動・β波共に上昇するが、装着前より若干低め。  
このグラフから被験者は、TERA WAVE リカバリー・バンド着脱後も、一定時間リラックス効果が、維持する傾向が見られる。

## <脳波の種類>

- ◎δ(デルタ)波；0.5~3.5Hz；睡眠中、特に前頭葉にみられる脳波。
- ◎θ(シータ)波；4.0~7.0Hz；入眠時から睡眠状態のとき、又は変性意識状態で顕著に出現する脳波。
- ◎α(アルファ)波；8.0~13.0Hz；リラックス状態や閉眼安静時、変性意識状態で出現しやすい脳波。
- ◎β(ベータ)波；14.0~40.0Hz；思考・言語・運動・五感中枢など、脳が活発に活動している時に出現する脳波。覚醒時、心理的興奮、ストレスがある時にもみられる脳波。
- ◎眼球運動；外眼筋の無意識動作により、眼精疲労、ストレス、緊張度が分かる。

被験者 / 60代男性



<TERA WAVE リカバリー・バンド>  
装着前の脳波は、β波は平均的に出現。  
眼球運動は平均より低い。  
装着直後から、眼球運動は低下。  
β波は、装着前とほぼ同様。  
若干、高β波(20~40HZ)領域が低下。  
このグラフから、TERA WAVE リカバリー・バンドを装着すると、遠赤外線、テラヘルツ波効果により、眼球運動が低下したリラックス効果が見受けられる。